

1 調査名称：三郷駅前地区市街地再開発事業に係る都市交通検討調査業務委託

2 調査主体：尾張旭市

3 調査圏域：三郷駅前地区

4 調査期間：令和4年度

5 調査概要：

「「ひと」にやさしい 緑豊かで快適なまち」をコンセプトに「三郷駅周辺まちづくり基本計画」を平成28年3月に策定し、令和3年8月に三郷駅前地区において駅前広場を含む三郷駅前線や市街地再開発事業等を都市計画決定した。本業務は、都市計画決定した三郷駅前地区周辺の道路を対象として、現況道路ネットワークデータ及び現況OD表をベースに、市街地再開発準備組合で検討する施設計画案を反映した将来道路ネットワークデータを作成するとともに、市街地再開発関連交通手段別発生集中交通量及び分布交通量を踏まえ、ピーク時における将来OD表を作成し、歩行者交通流動を加味した混合型の将来交通流動シミュレーションを実施し、交通円滑性、安全性及び快適性の観点で検証を行う。

## I 調査概要

1 調査名称：三郷駅前地区市街地再開発事業に係る都市交通検討調査業務

### 2 報告書目次

#### 1. 業務概要

1. 委託業務名称
2. 履行期間
3. 発注者
4. 受注者
5. 業務目的
6. 位置図

#### 2. 交通実態調査結果の集計

#### 3. 自動車及び歩行者の現況交通の再現

#### 4. 自動車及び歩行者の将来交通の再現及び交通円滑性等の検証

- (1) 市街地再開発事業の与条件の整理
- (2) 将来交通流動シミュレーションの実施と検証

#### 5. 対策案の検討

- (1) 対策案の検討とシミュレーションの実施
- (2) 駐輪場利用者アンケート調査の実施

3 調査体制  
該当なし

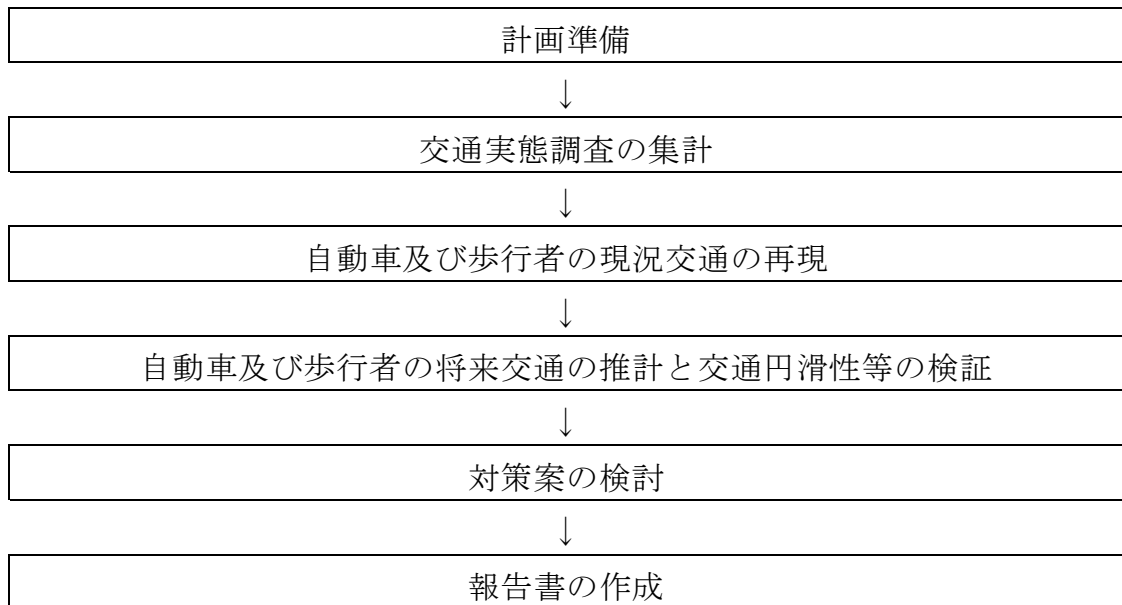
4 委員会名簿等：  
該当なし

## II 調査成果

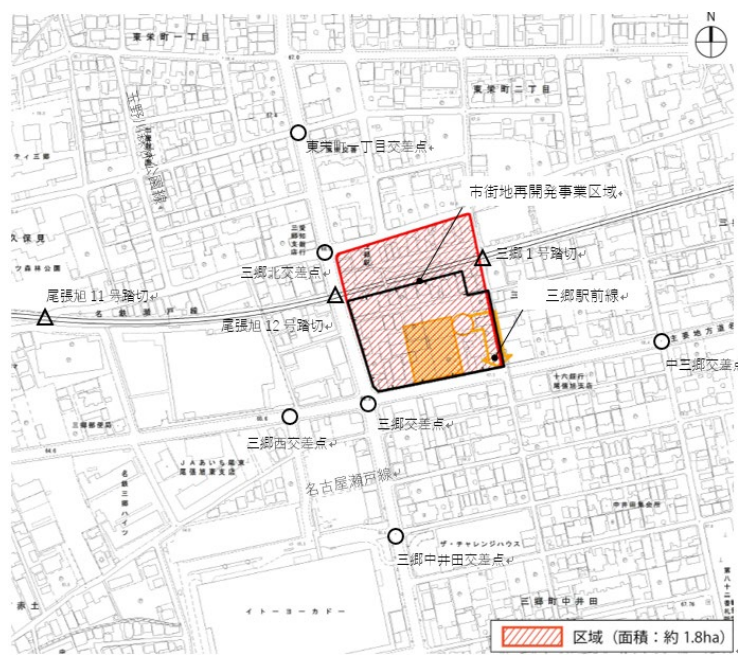
### 1 調査目的

「ひと」にやさしい 緑豊かで快適なまち」をコンセプトに「三郷駅周辺まちづくり基本計画」を平成28年3月に策定し、令和3年8月に三郷駅前地区において駅前広場を含む三郷駅前線や市街地再開発事業等を都市計画決定した。本業務は、交通流動シミュレーションを活用し、市街地再開発事業による駅前広場を含む都市計画道路三郷駅前線整備後の三郷駅前地区周辺の将来交通を再現・可視化するとともに、検証の結果、交通円滑性、安全性及び快適性に対する懸念が認められる箇所について、その原因を分析するとともに、複数の対策案を用意、対策後の将来交通流動シミュレーションを実施し、最善案の検討を行うことを目的とする。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



#### 凡例

○ : 信号交差点

△ : 踏切

4 調査成果  
別添のとおり

# 三郷駅前地区市街地再開発事業に係る都市交通検討調査業務委託 〔成果概要〕

令和5年3月

## 1. 業務概要

### 【業務の目的】

“「ひと」にやさしい緑豊かで快適なまち”をコンセプトに「三郷駅周辺まちづくり基本計画」を平成28年3月に策定し、令和3年8月に三郷駅前地区において駅前広場を含む三郷駅前線や市街地再開発事業等を都市計画決定しました。

本業務では、都市計画決定した三郷駅前地区周辺の道路を対象として、「駅前広場へのアクセス」や「新たに整備する駐車場や駐輪場、公共施設などの施設配置」等の総合的な都市交通の検討を行うため、周辺の交通流動を把握し、適切な対応案や対策案の検討を目的とします。

### 【業務内容】1) 交通実態調査結果の集計

- 2) 自動車及び歩行者の現況交通の再現
- 3) 自動車及び歩行者の将来交通の再現及び交通円滑性等の検証
- 4) 対策案の検討

## 2. 業務成果

### (1) 交通実態調査結果の集計

■ 令和3年度に実施した三郷駅周辺の交通実態調査（自動車・歩行者のビデオ調査等）から、現況の交通状況（自動車台数や通行人数等）をカウント集計しました。

【交差点方向別交通量（11箇所）、信号現示（6箇所）、踏切部方向別交通量及び遮断時間（2箇所）】

### (2) 自動車及び歩行者の現況交通の再現

■ 交通実態調査の集計データを活用し、現況道路ネットワークデータを作成するとともに、朝の混雑時間帯OD表（クルマや人がどこからどこへいったのかを示す表）を作成し、歩行者と自動車が混在した交通流動シミュレーションを実施し、現況の三郷駅周辺の交通状況を再現しました。

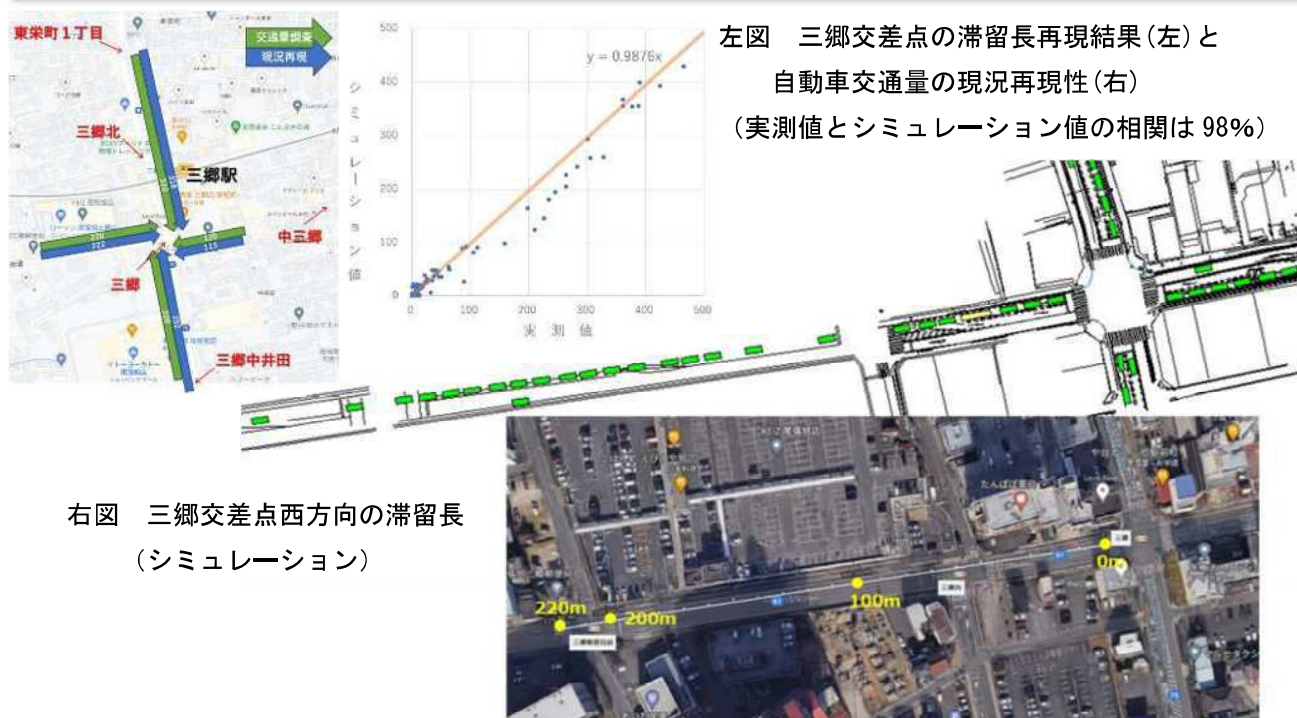
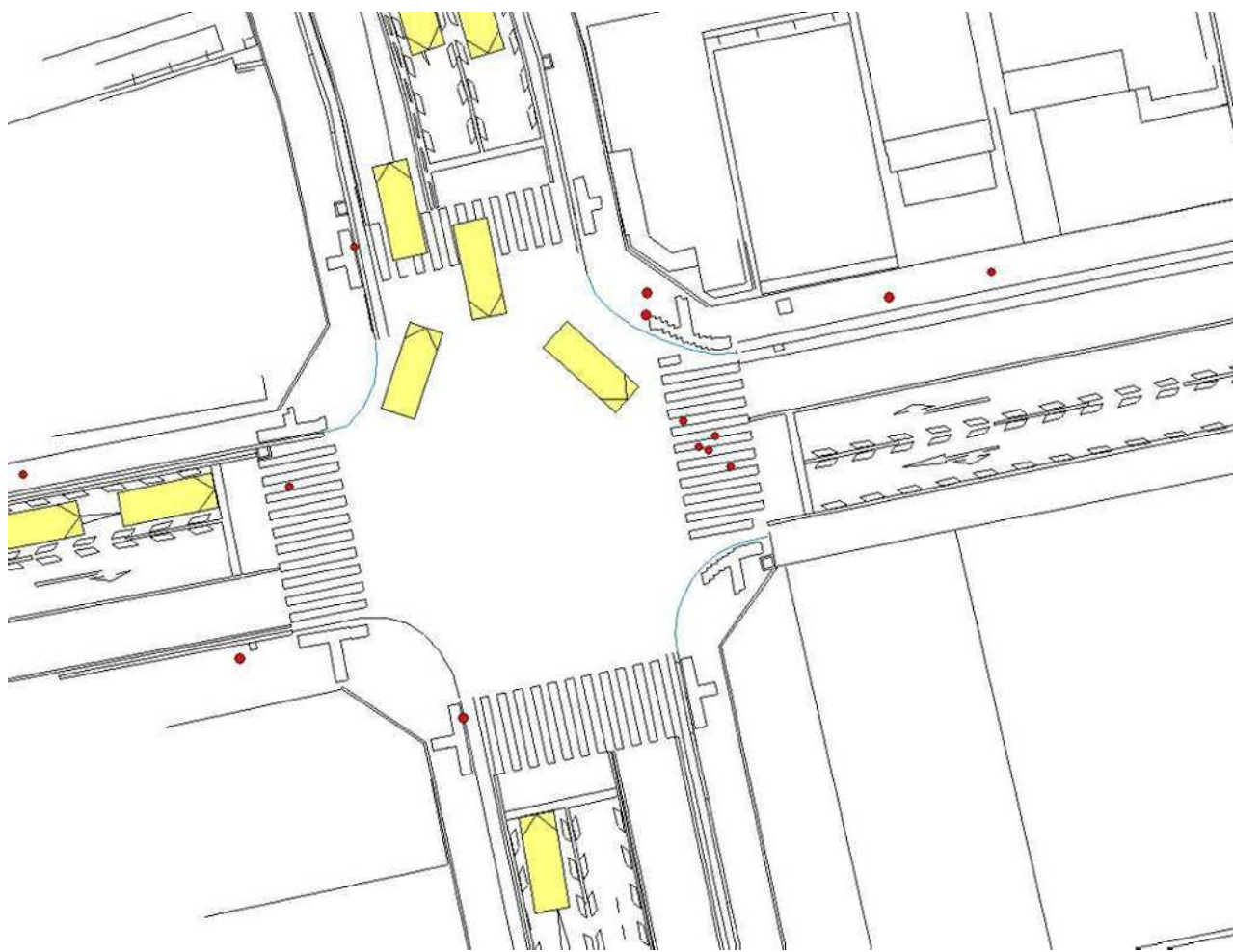


図 三郷交差点における自動車と歩行者・自転車の混在する状況（シミュレーション動画による描写）

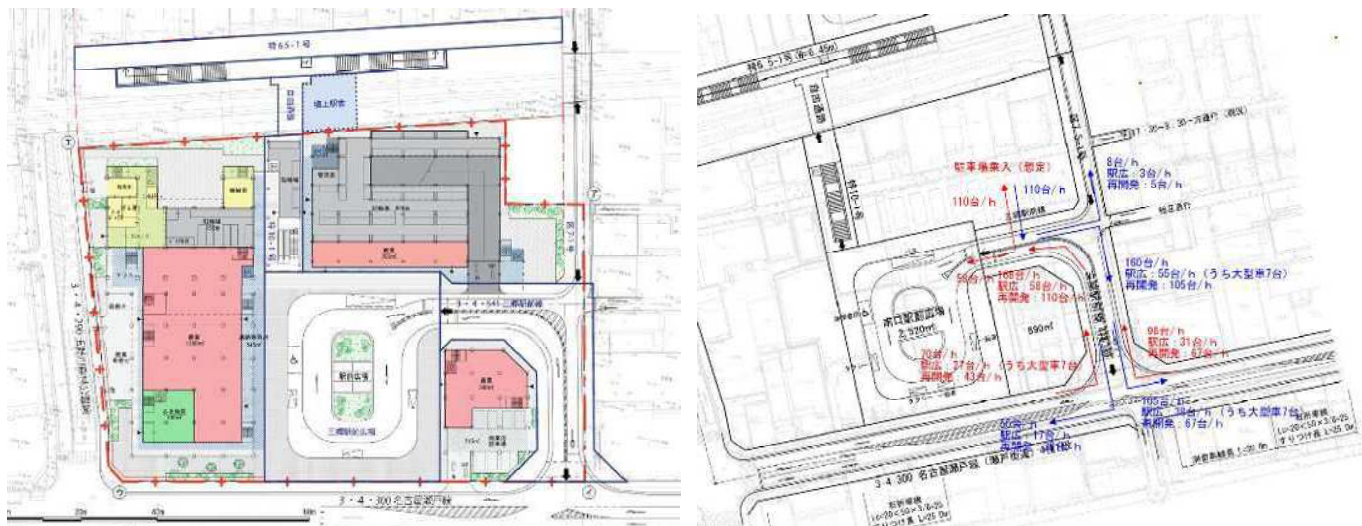


### (3) 自動車及び歩行者の将来交通の再現及び交通円滑性等の検証

#### ① 市街地再開発事業の与条件の整理

■ 現在準備組合により検討が進められている新たな駐車場や駐輪場施設、公共施設等の施設配置を含む市街地再開発事業の計画等の与条件を整理しました。

図 市街地再開発事業計画図(左)と朝の混雑時間帯における新設交差点・駅前広場に出入りする交通量(右)





## ② 将来交通流動シミュレーションの実施と検証

■ 現況のシミュレーション結果を活用し、前項の市街地再開発事業が行われた場合の将来交通流動シミュレーションを行い、交通円滑性、安全性及び快適性の観点による開発による影響検証（交通状況がどのくらい悪化するのか、どのくらい渋滞するのか）を行いました。

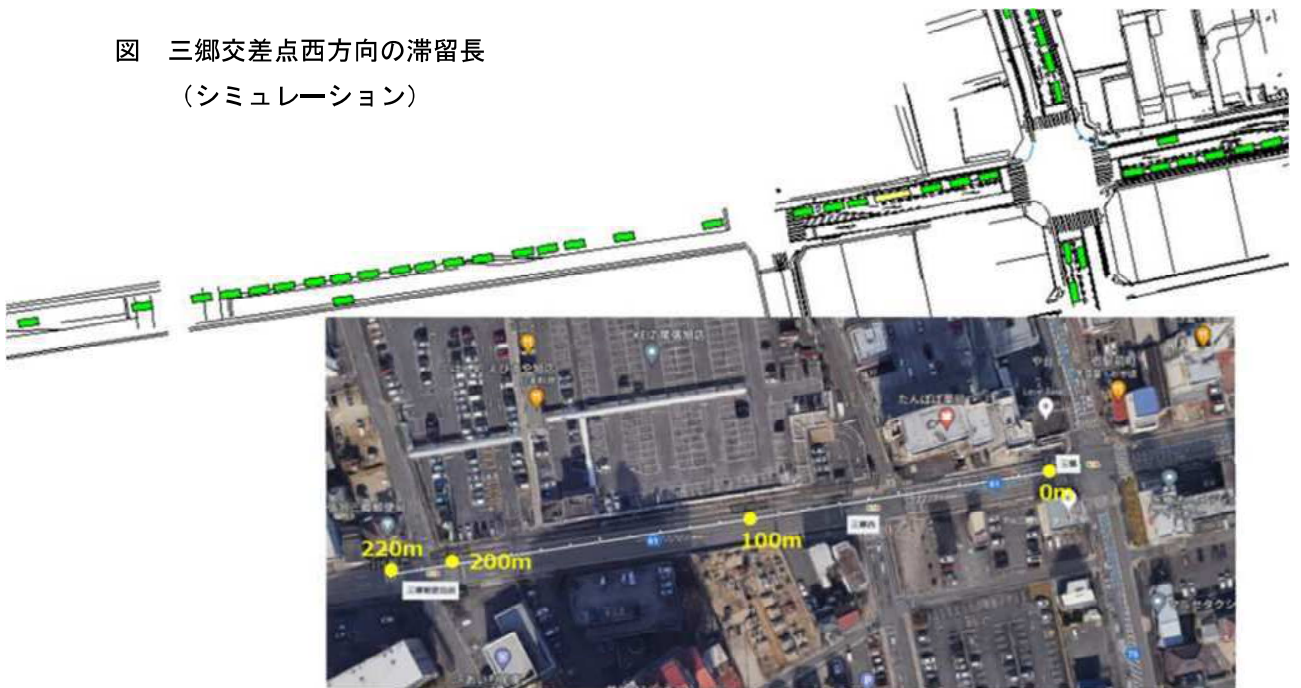
図 再開発により駅前広場が整備された場合の交通流動シミュレーション 全体（左）と駅前広場（右）



### ○三郷交差点(検証)

・西側滞留長が現況と比べ 141m（ピーク時間帯平均）伸び、三郷郵便局前交差点（220m）まで達します。平均速度は現況 6.5 km/h から将来は 6.2 km/h と著しく低下しないことなどから道路としてのサービスレベルが落ちているとまでは言えませんが、渋滞車両最後尾車両が交差点を通過するまでにかかる時間は現況の 2 分 20 秒から将来は 3 分 4 秒と、44 秒増加します。このように、当該区間は再開発事業の影響が表れる箇所であり、利用者に対して現況比悪化（快適性の低下）を感じさせることが懸念されます。

図 三郷交差点西方向の滞留長  
(シミュレーション)



### (3) 対策案の検討

■ 前項の検証結果を踏まえ、開発による影響の原因（どのようにして生じるのか）を分析するとともに、その影響が最小限となるような対策案を検討し、シミュレーションによる評価を行いました。

#### ① 開発による影響の原因分析

##### ○三郷交差点(原因[抜粋])

・ 将来の駅前広場の開発交通量が増え、三郷交差点から将来の駅前広場入口交差点までの東方向において、駅前広場からの先詰まりが発生していることが原因と考えられます。当該区間を通過する自動車交通は、三郷交差点西断面からが最も多く、このことが、三郷交差点西側滞留長の伸びに影響を及ぼしたと推察されます。

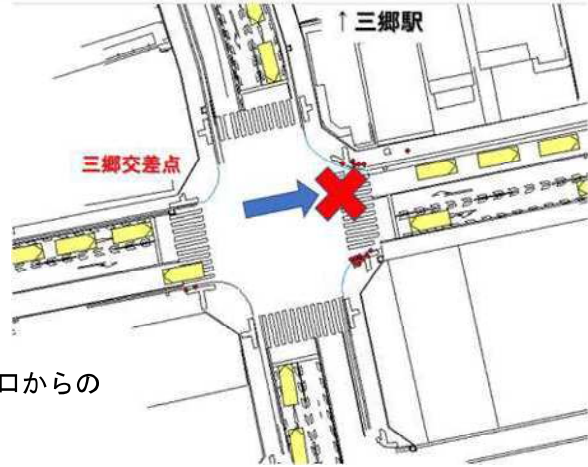


図 三郷交差点において東方向への直進車が駅前広場入口からの滞留（先詰まり）により進めない状態

#### ② 対策案の検討(抜粋)

- シミュレーション結果より、開発による渋滞増加や通過時間の増加に対しては将来の駅前広場入口交差点左折進入時に交通障害となる東西方向の歩行者・自転車動線を北側へ誘導すること(対策案①)、三郷交差点において東西方向の青時間を増やすこと(対策案②)が、交通円滑化に効果があることが分かりました。
- また、将来的には北口駅前広場の整備により駅南側に立ち寄る交通量を分散させることを検討します。

対策案①: 将来の駅前広場入口交差点左折交通の円滑化 ※再開発事業区域内で行う対策

対策案②: 信号機(現示・スプリット)調整 ※再開発事業と併せて行う対策

対策案③: 北口駅前広場の整備 ※三郷駅周辺まちづくり事業として行う対策

#### 対策箇所図(抜粋)

